

7 章 函 渠 工

7.1 函渠工

7.1.1 函渠工 (1)

7.1.2 函渠工 (2)

7章 函渠工

7.1 函渠工

7.1.1 函渠工(1)

1. 適用

以下のいずれかに該当する函渠工（現場打カルバート工）の施工に適用する。
 (1) 土被り範囲 9 m以下で1層の現場打ちボックスカルバート（アーチ等形状は問わない）
 (2) 土被り範囲 9 m以下で1層2連の現場打ちボックスカルバート
 (3) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が340m以下の場合
 また、適用を外れる現場打カルバート工については、函渠工（2）を適用する。

2. 数量算出項目

函渠本体コンクリート（ウイング、段落ち防止用枕を含む）、化粧型枠の数量を区分毎に算出する。
 また、基礎砕石（敷均し厚20cm以下）、均しコンクリート、目地・止水板（I型）については必要の有無を確認する。

- 注) 1. 基礎砕石（敷均し厚 20cm を超える場合）については、「第1編（共通編）9. 1 砕石基礎工」によるものとする。
 2. 目地・止水板（I型以外の形状）については、別途考慮するものとする。
 3. 冬期の施工で雪寒仮囲いが必要な場合については、「第1編（共通編）11. 6. 2 雪寒仮囲い工」によるものとする。

3. 区分

区分は、コンクリート規格、内空寸法、養生工の種類、基礎砕石の有無、均しコンクリートの有無、目地・止水板の有無、圧送管延長距離とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 区分 項目 | コンクリート 規格 | 内空 寸法 | 養生 工の 種類 | 基礎 砕石 の 有無 | 均し コン クリ ートの 有無 | 目地・ 止水板 の 有無 | 圧送管 延長 距離 | 単位 | 数量 | 備考 |
|----------|--------------|----------|----------------|---------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|----|----|
| 函 渠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | m ³ | ○ | |

4. 数量算出方法

数量算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるものとする。

7.1.2 函渠工(2)

1. 適用

函渠工(1)の適用範囲を外れた函渠工コンクリート打設に適用する。

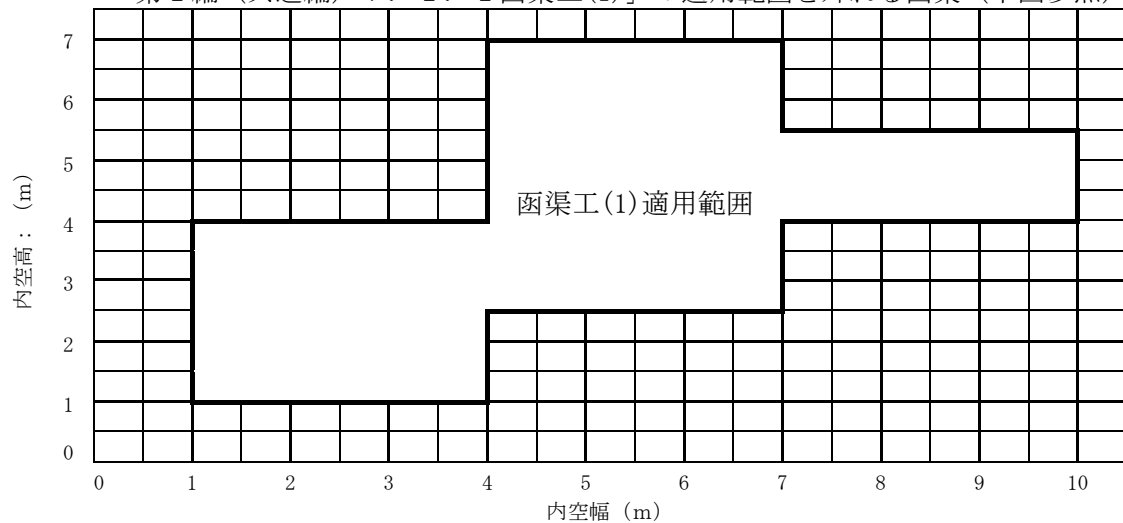
参考(函渠工(1)の適用範囲を外れた函渠工)

河川工事で施工する函渠

- ・樋門・樋管(函渠(門柱等含む)、翼壁、水叩)、ボックス形式の水路等

道路工事で施工する函渠

- ・ボックスカルバート以外の函渠
- ・1層又は1層2連以外の函渠
- ・土被りが9mを超える函渠
- ・「第1編(共通編)7.1.1 函渠工(1)」の適用範囲を外れる函渠(下図参照)



2. 数量算出項目

コンクリート(場所打函渠)の体積を区分ごとに算出する。

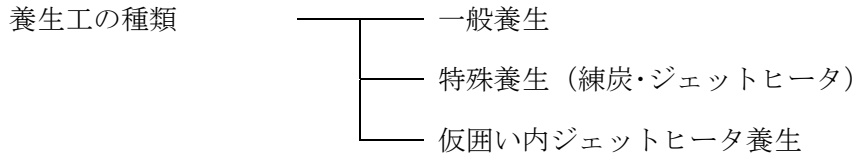
3. 区分

区分は、規格、生コンクリート規格、養生工の種類、圧送管延長距離区分とする。

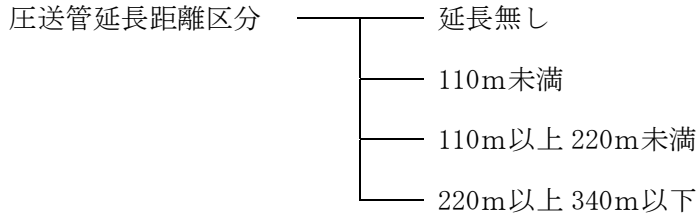
(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 \ 区分 | 規格 | 生コンクリート規格 | 養生工の種類 | 圧送管延長距離区分 | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------------|----|-----------|--------|-----------|----------------|----|----|
| コンクリート(場所打函渠) | ○ | ○ | ○ | ○ | m ³ | | |

(2) コンクリート（場所打函渠）の養生工の種類による区分は、以下のとおりとする。



(3) コンクリート（場所打函渠）の圧送管延長距離区分は、以下のとおりとする。



注) 圧送管延長距離区分は、作業範囲（30m）を超えて圧送管を延長する場合に、超えた部分の延長距離を該当する区分から選択する。

関連数量算出項目

| 項目 | 単位 | 数量 | 備考 |
|----------|-----------------|----|------------------------|
| 型枠 | m ² | | 「第1編（共通編）4. 2型枠工」参照 |
| 鉄筋工 | t | | 「第1編（共通編）4. 3. 1鉄筋工」参照 |
| 足場工 | 掛m ² | | 「第1編（共通編）1 1. 4足場工」参照 |
| 支保工 | 空m ³ | | 「第1編（共通編）1 1. 5支保工」参照 |
| 基礎材 | m ² | | 必要な場合別途計上 |
| 均しコンクリート | m ³ | | |
| 水抜パイプ | m | | 必要な場合別途計上 |
| 吸出し防止材 | m ² | | 必要な場合別途計上 |
| 目地板 | m ² | | 必要な場合別途計上 |
| 止水板 | m | | 必要な場合別途計上 |

4. 数量算出方法

数量算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。

(1) コンクリート（場所打函渠）の数量は、ウイング、段落ち防止用枕を含む本体コンクリートの数量とする。